

令和元(H31)年度活動実績

諏訪湖漁業協同組合

1 漁場環境保全対策

漁場環境の回復に向け、ヒシ除去、清掃活動などの取り組みを行った。

(1) 漁場の整備

表 1 漁場整備活動実績

活動項目	実施時期	内容または実施主体	組合員実績
ヒシ除去	7/5(7/4 強風で中止)	諏訪湖環境改善行動会議	5 隻 5 名/日
	7/13	環境市民会議おかや・岡谷市	14 隻 14 名 4.5 t
	7/27(勉強会のみ)	諏訪市・信濃毎日新聞社 他	26 隻 26 名
清掃活動	5月～9月 [6回]	アダプトプログラム担当区間清掃	延べ 34 名
	毎月 1 回以上	各船着場の清掃・草刈・ヒシ除去等	延べ 390 名
	春・秋	砥川河口河川敷の草刈	3 回延べ 10 名
	毎出漁時及び出水後	浮遊ゴミ・沈木除去	延べ 123 名

【活動の成果】ヒシ除去や清掃活動の継続は環境意識の醸成に役立っている。協働の拡大に向けて、除去した浮遊ゴミ等の恒常的な集積・処理体制の構築などの条件整備が必要。

2 食害軽減対策

刺網や電気ショック船によるブラックバス・ブルーギル等の外来魚駆除及びカワウ・カワアイサ等魚食性鳥類対策として船による追払いを実施した。

(1) 外来魚駆除

表 2 外来魚駆除実績

※R1 は 12 月までの実績

駆除実績 (4～1 月)	重量	尾数
令和元(H31)年度実績※	4,319kg	171,922 尾
ブラックバス	2,860kg	108,863 尾
ブルーギル	1,459kg	63,059 尾
平成 30 年度実績	3,708kg	57,215 尾
平成 29 年度実績	6,432kg	355,000 尾

今季は水質的に良好で電気ショック船の稼働時期が長かったことに加え、刺網による駆除を含め駆除重量が昨年より増加した。特に若年級群が多く、H28 の魚類大量死後の湖内生態系の混乱を如実に示している。魚類大量死による影響は未だ続いており、外来魚の分布や出現状況等の推移に注意が必要である。

(2) 魚食性鳥類追払い

カワアイサ・カワウ等魚食性鳥類の追払いは、12月1日から毎日2交代延べ4名の出役により6時から18時まで実施し、さらに、専門業者による打上げ花火を併用している。

R2年1月のカモ類生息数調査では、カワアイサは昨年とほぼ同数が確認されているが、カワウの周年定着化の傾向が強まっており、年間を通じた監視・追払いの必要性が高くなっている。また、今季は潜水を得意とするカイツブリが大群で居座り新たな脅威となっている。

上川などの流入河川や初島等には、カワウの「ねぐら」が形成されることが多く、地域振興局農政課・林務課、水産試験場等の協力を得てテープ張り等による居付き防止の対策を行っているが、抜本的な対策とはなっていない。

表 3 諏訪湖へのカワアイサ・カワウ等の飛来数 (カモ類生息個体数調査 [1 月実施分])

年(暦年)	26	27	28	29	30	31	R2
カワアイサ	713	1,426	722	440	635	677	651
ミコアイサ	14	106	63	79	71	58	97
カワウ	1	7	62	2	99	43	85
結氷状況	●	△	×	×	○	△	×

○結氷●ほぼ結氷△一部結氷×結氷無

【活動の成果】

諏訪湖の環境改善、特に魚介類の回復は未だに回復しておらず、また、新たな問題点も生じてきており、外来魚駆除や魚食性鳥類の追払いはこれまで以上に必要である。